

登録番号 76

き お く

も り

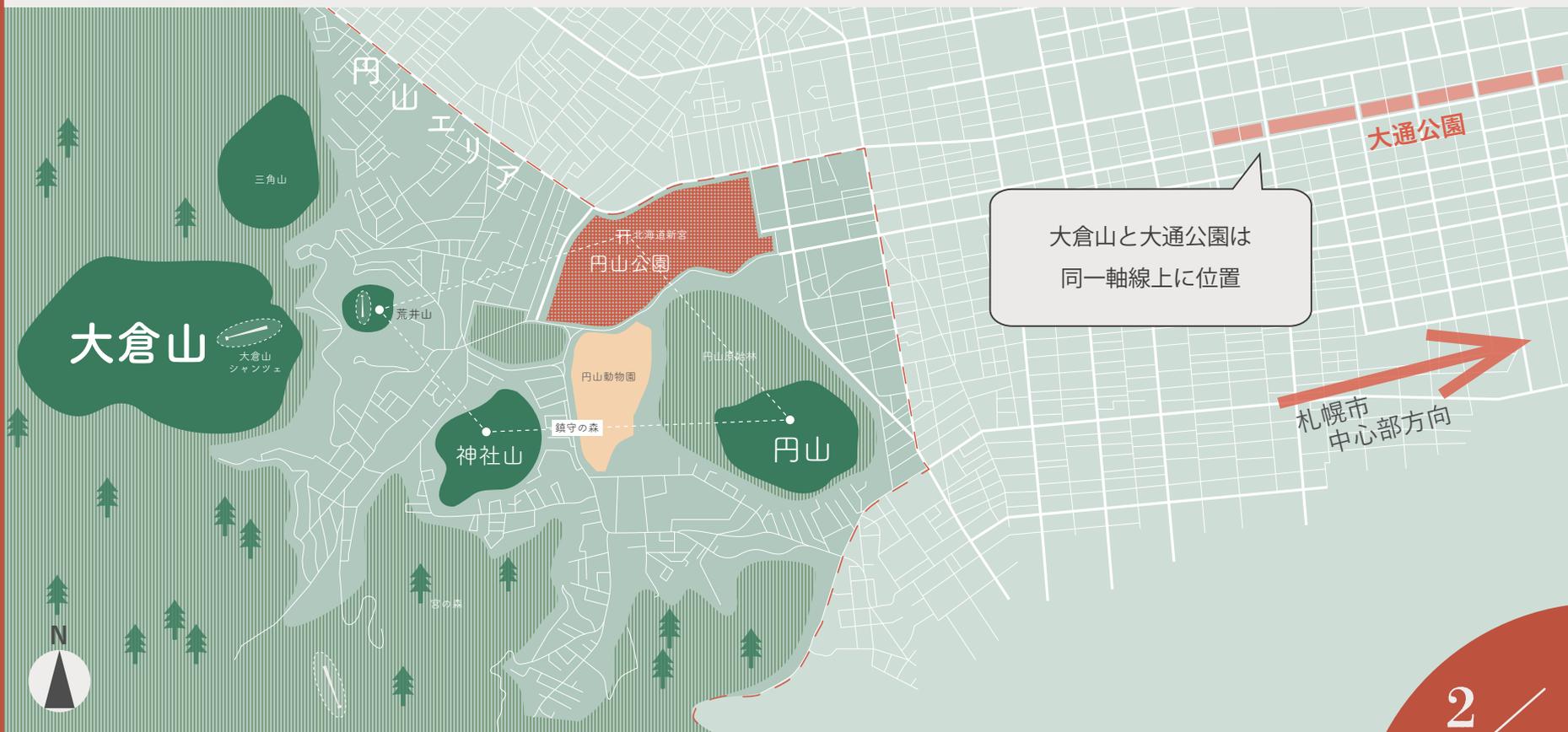
記憶の杜

たく おも つぎ つむ
～託された思いを次へと紡ぐ～

札幌市・大倉山シャンツェ

大倉山のある円山地区：自然信仰の対象

国の保護対象地 → **円山原生林**として
保存されている



△ 大倉山と札幌市中心部の位置関係

1972年 札幌オリンピック

→山が切り開かれ、スキージャンプ場に
(大倉山シャンツェ)

インフラ
整備



観光地化



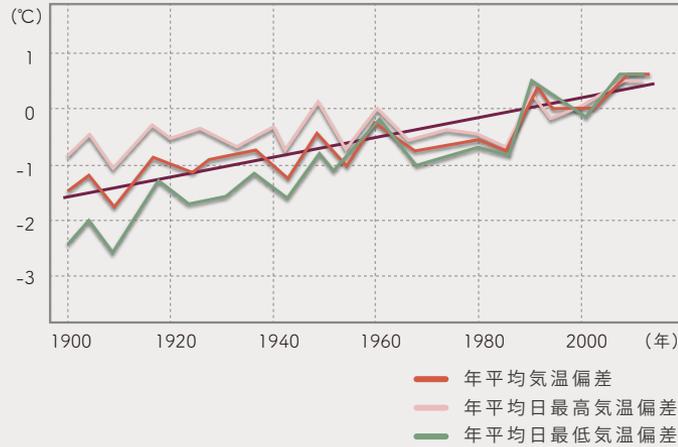
オリンピック
拠点化



オリンピックの
歴史を継承

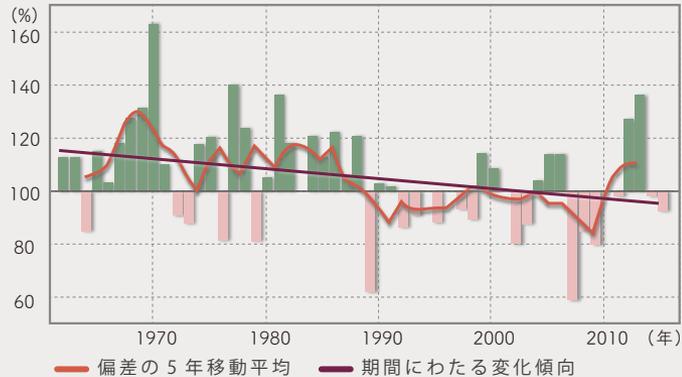
⚠ 気温の上昇

【北海道7地点の年平均気温偏差】



⚠ 降雪量の減少

【北海道日本海側の年最深積雪年比】

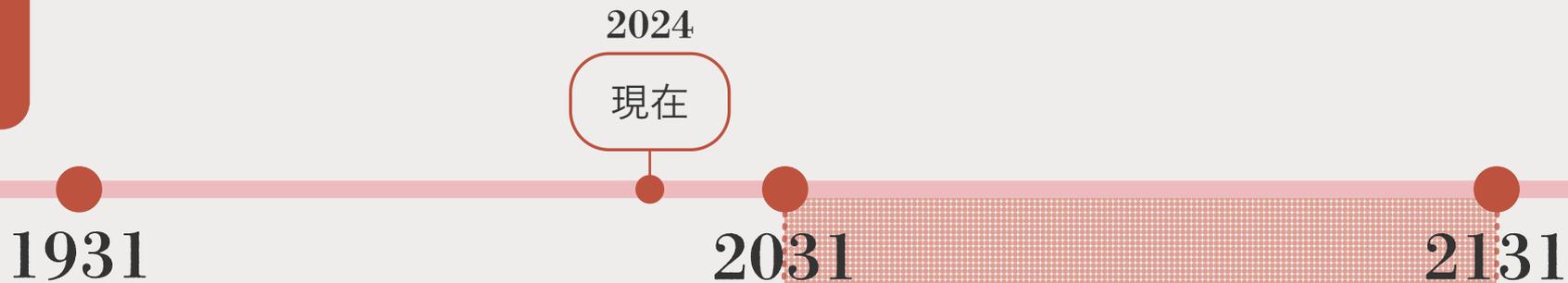


⚠ 都市・競技人口の減少

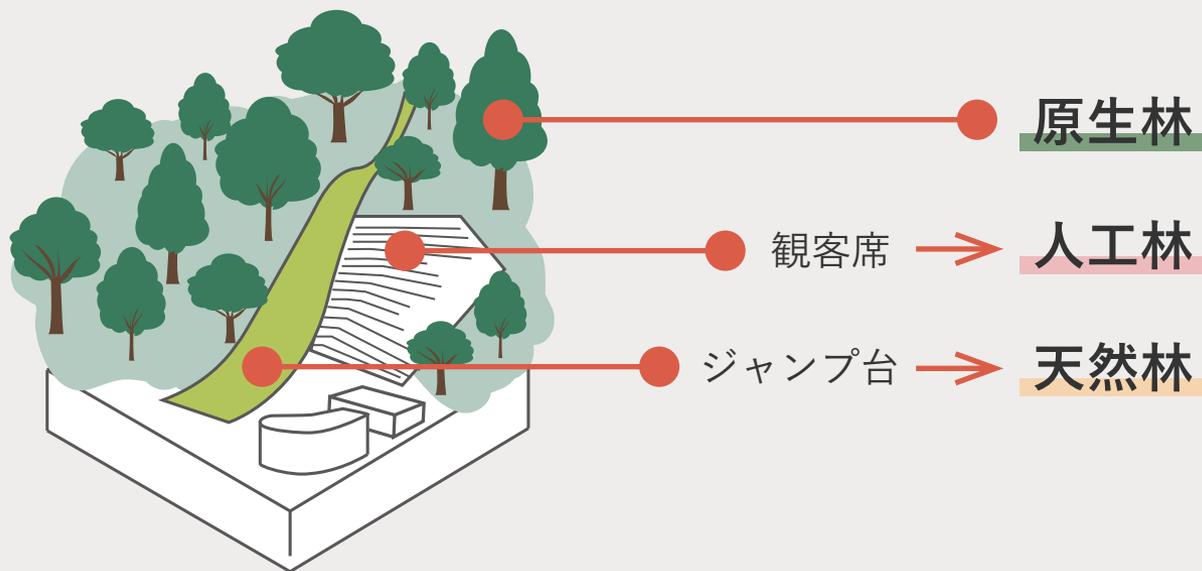
【北海道の人口と日本のウィンタースポーツ人口の推移】



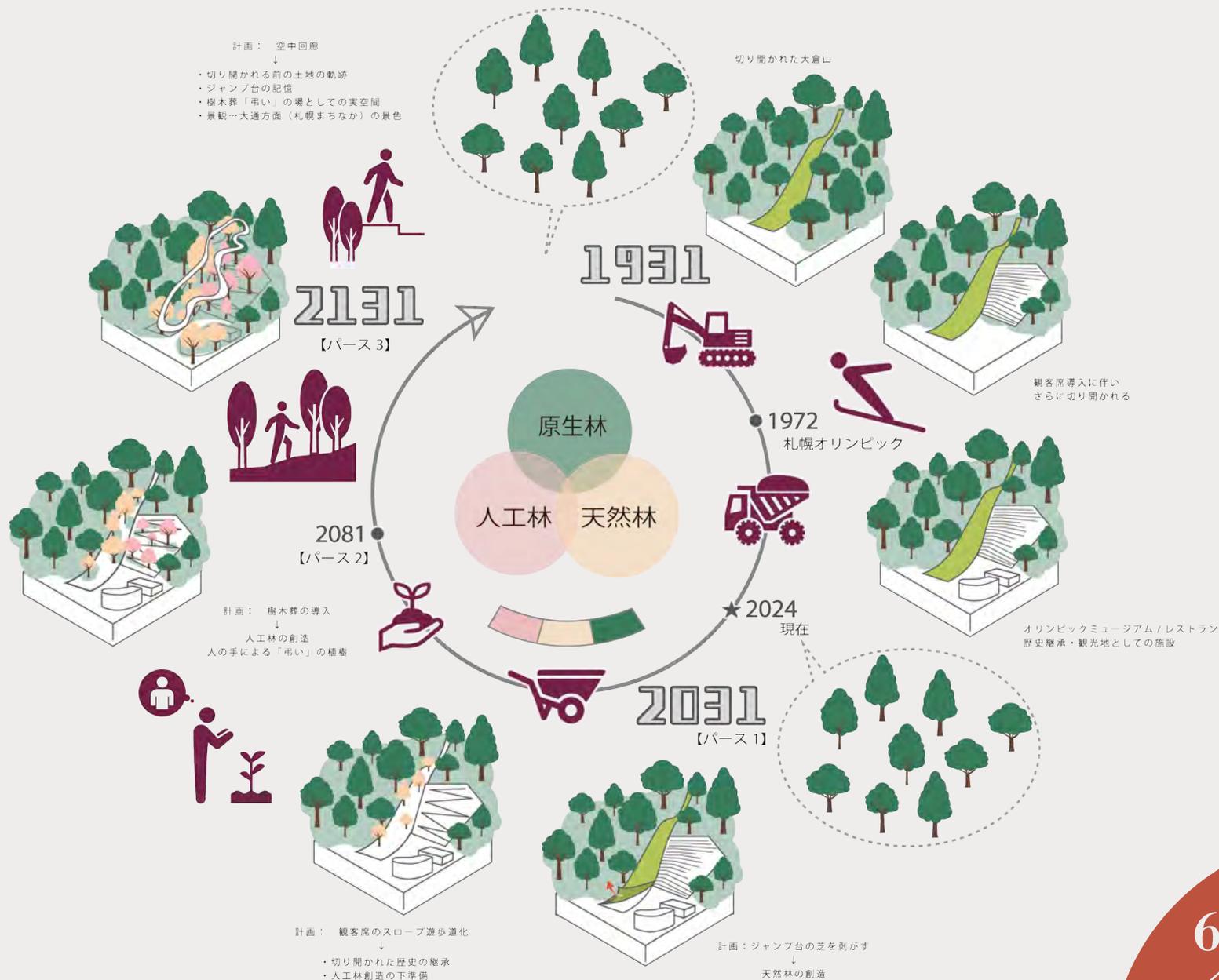
→大倉山の在り方を見直す必要がある



シヤンツェを森へ再生



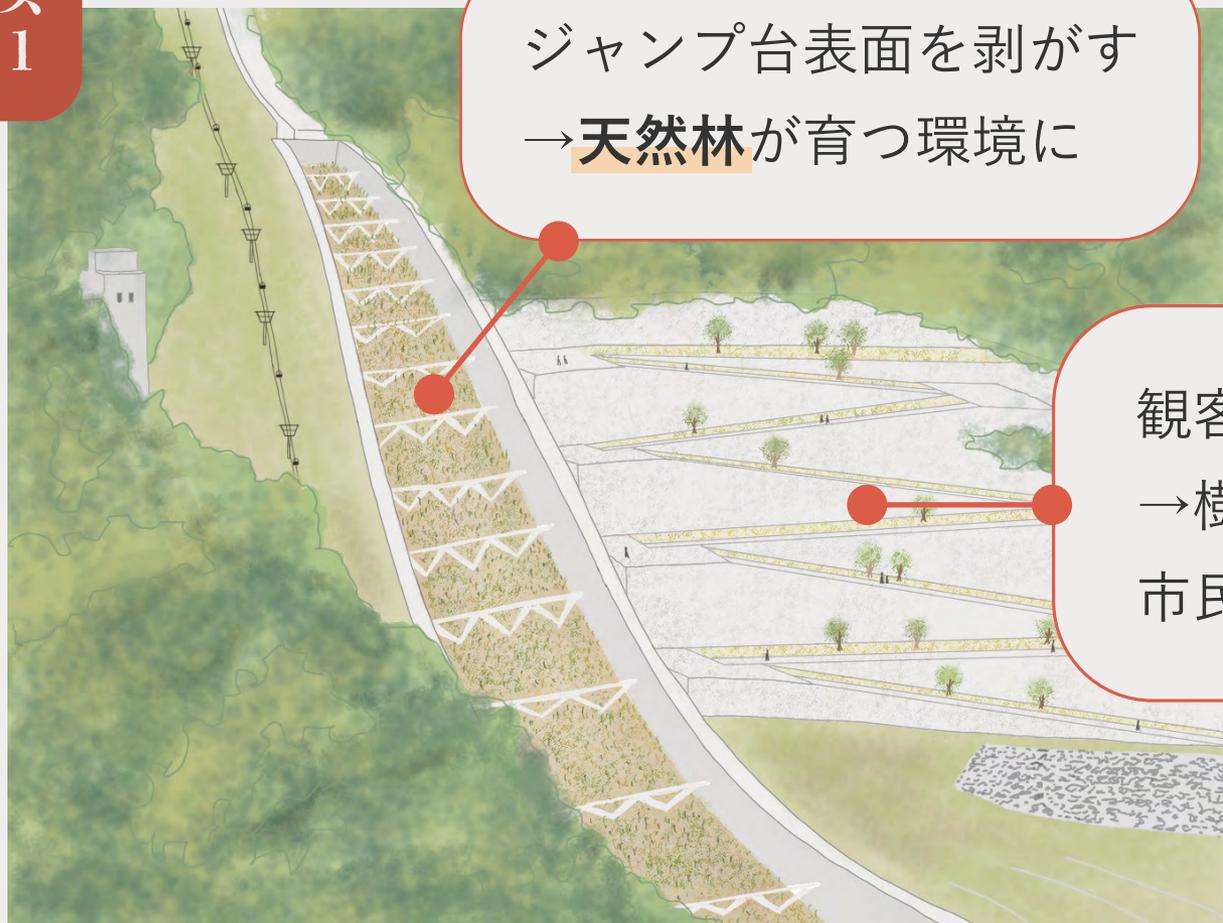
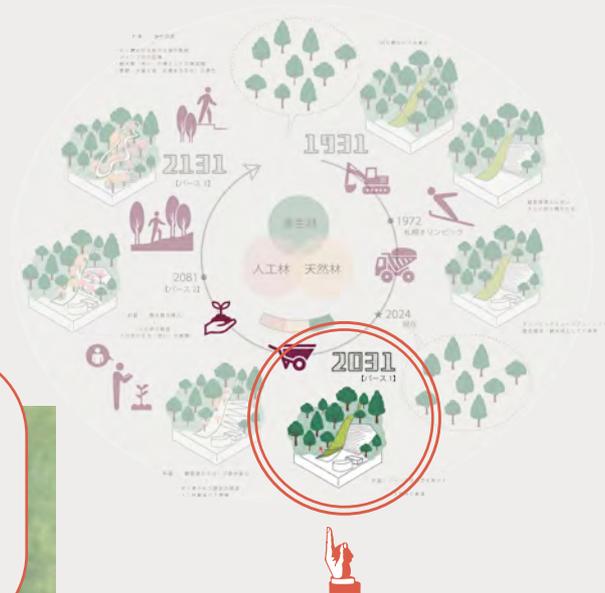
緑地空間



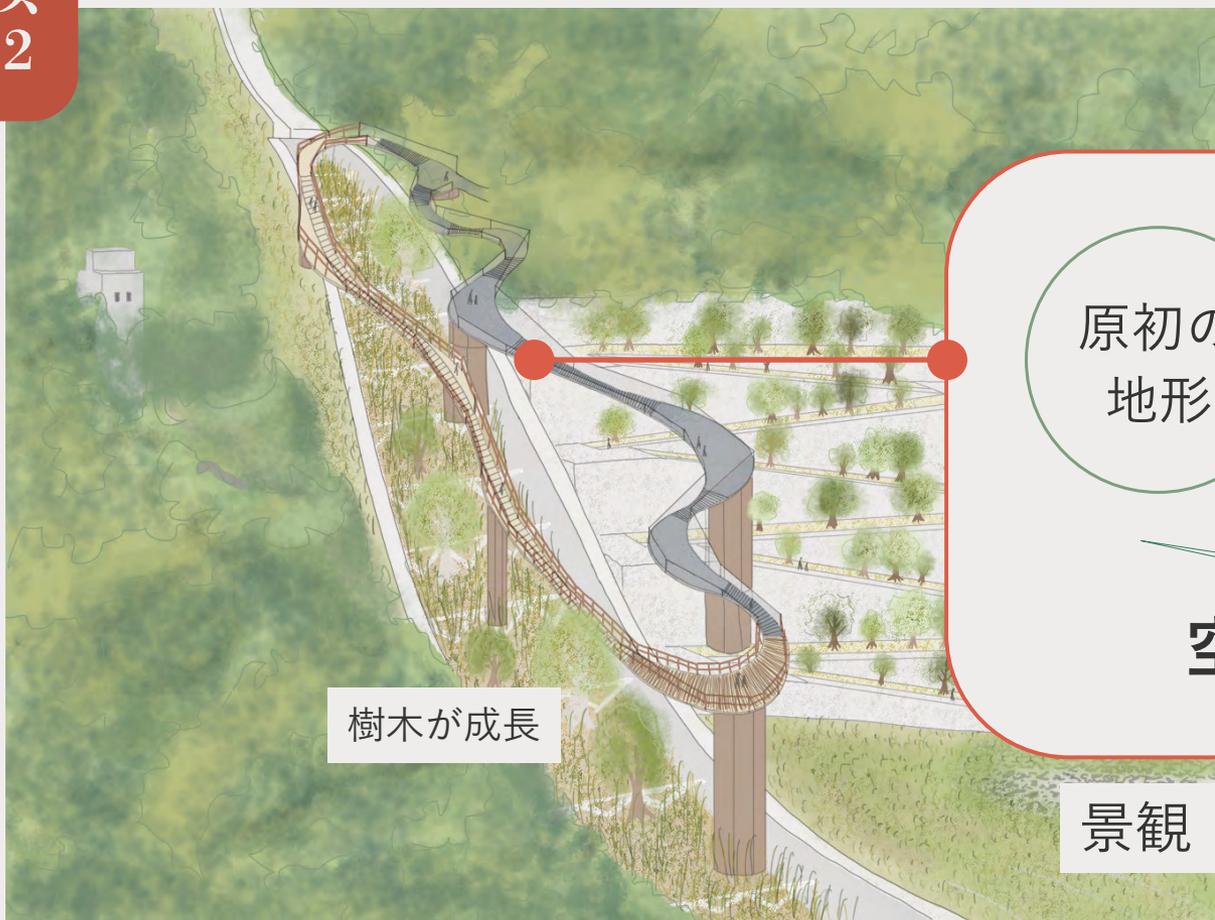
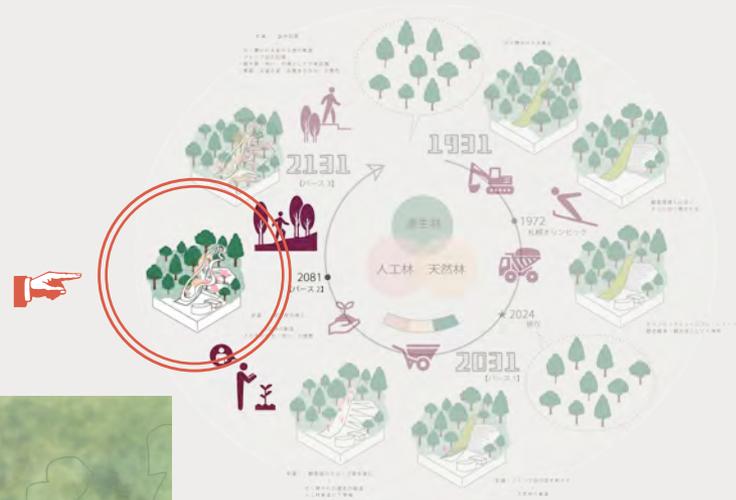
フェーズ1： 2031年～

ジャンプ台表面を剥がす
→天然林が育つ環境に

観客席（コンクリート）
→樹木葬の植樹
市民による人工林に



フェーズ2： 2081年～



樹木が成長

原初の
地形

ジャンプ
選手の
軌跡

空中回廊

景観・文化の継承

フェーズ3： 2131年

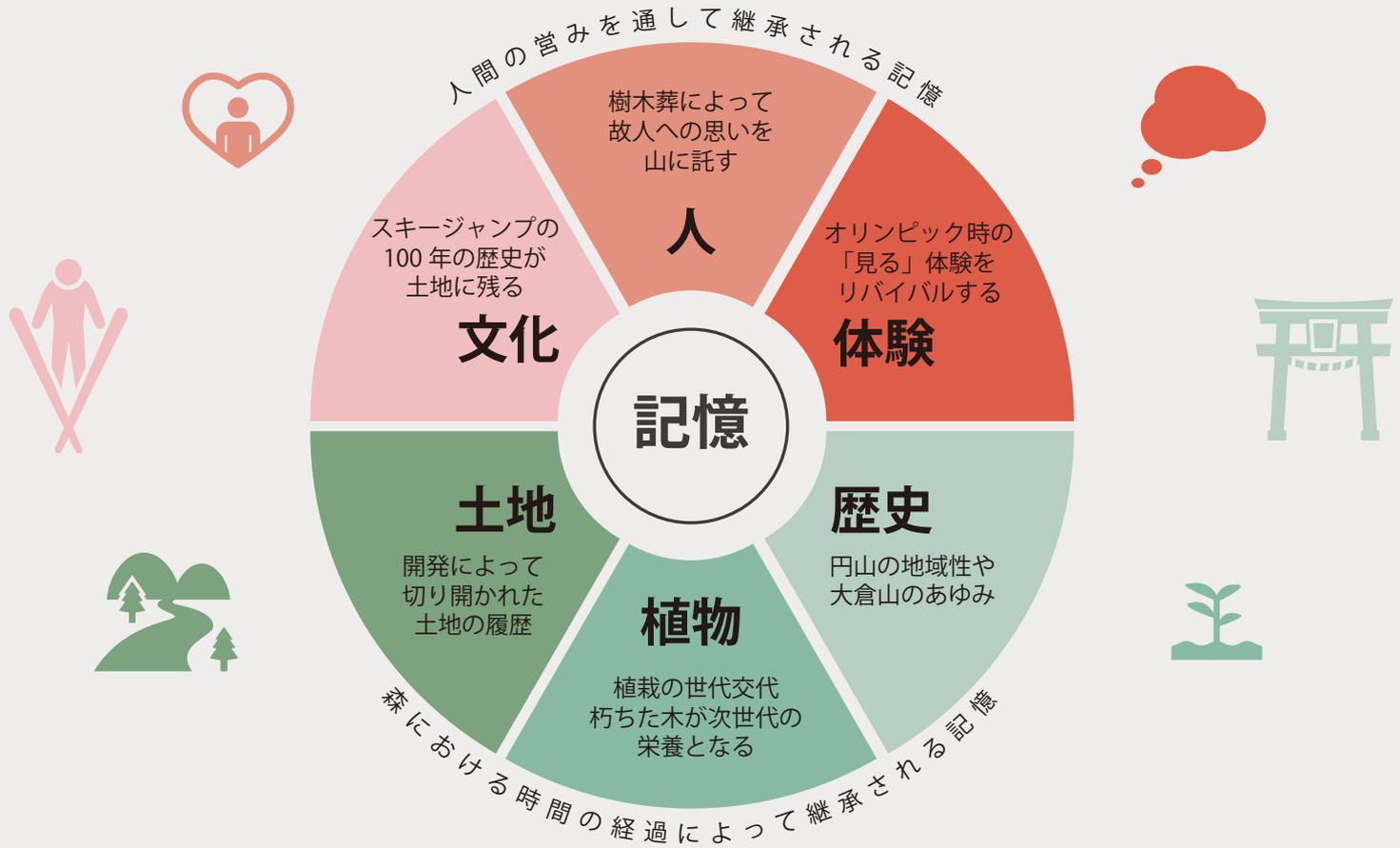
天然林が
空中回廊の高さに
成長

人工林も成長



元の**原生林**と合わせ、
3種の森が共生

切り開かれる
以前の森に戻る



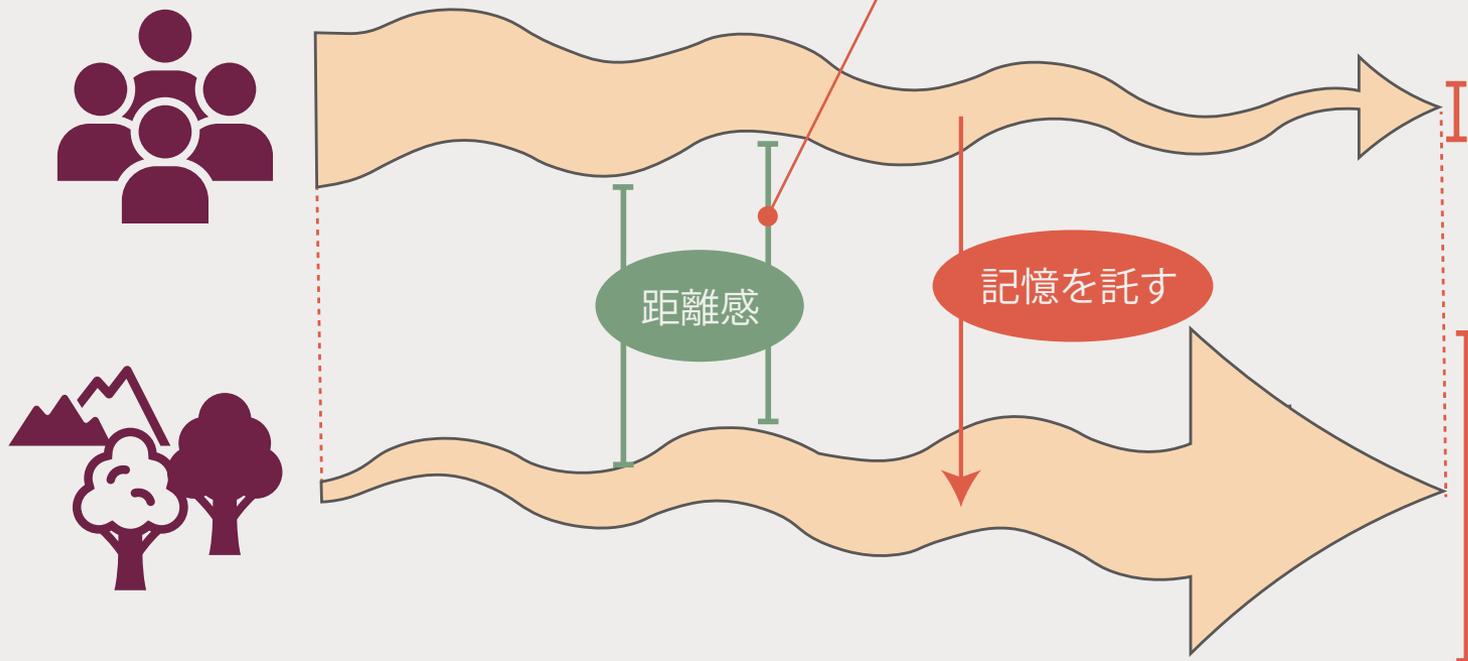
神聖な森は完全に戻らない
→人の手を加える



時間の経過によりうつろう人と森

共にうつろう

→関係性は変わらない



人と森の関係性

人：森に想いを託す（記憶を残す）

森：人に想いを託される（記憶を蓄積→次世代へ継承）

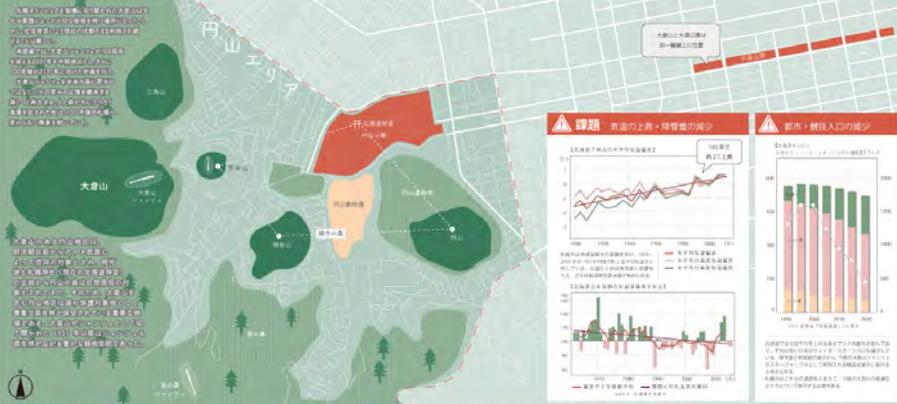
記憶の杜

～託された憶いを次へと紡ぐ～

対象地：大倉山ジャンプエ / 札幌市

札幌市は1972年の札幌オリンピックによって大きく発展した街である。スキージャンプ場である大倉山ジャンプエは札幌市ジャンプの中心的存在であり、現在でも札幌市ジャンプの歴史を伝える緑の場となっている。

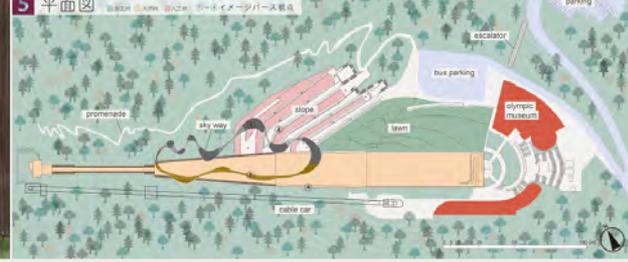
1 大倉山の背景



2 計画内容

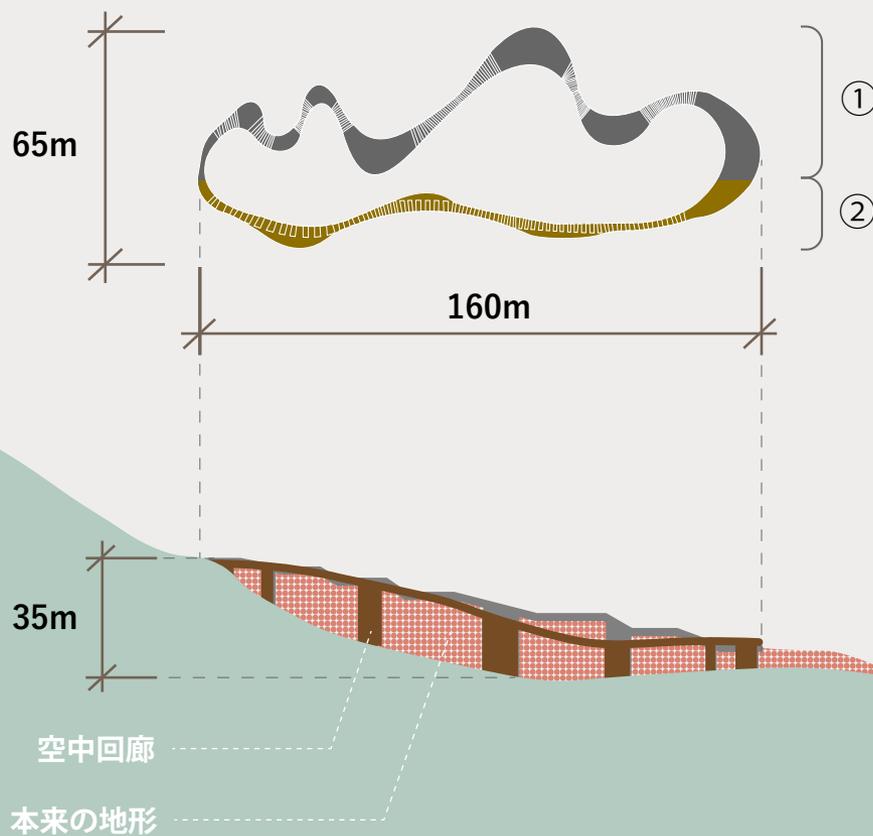


3 時代変化 大倉山年表



空中回廊を歩く

→ 景観を楽しみ、かつての営みを追体験する



① 切り開かれる前の地形

人工林上を通る

→ 人工的なテクスチャ (金属)
曲線的・滞留エリアが多い



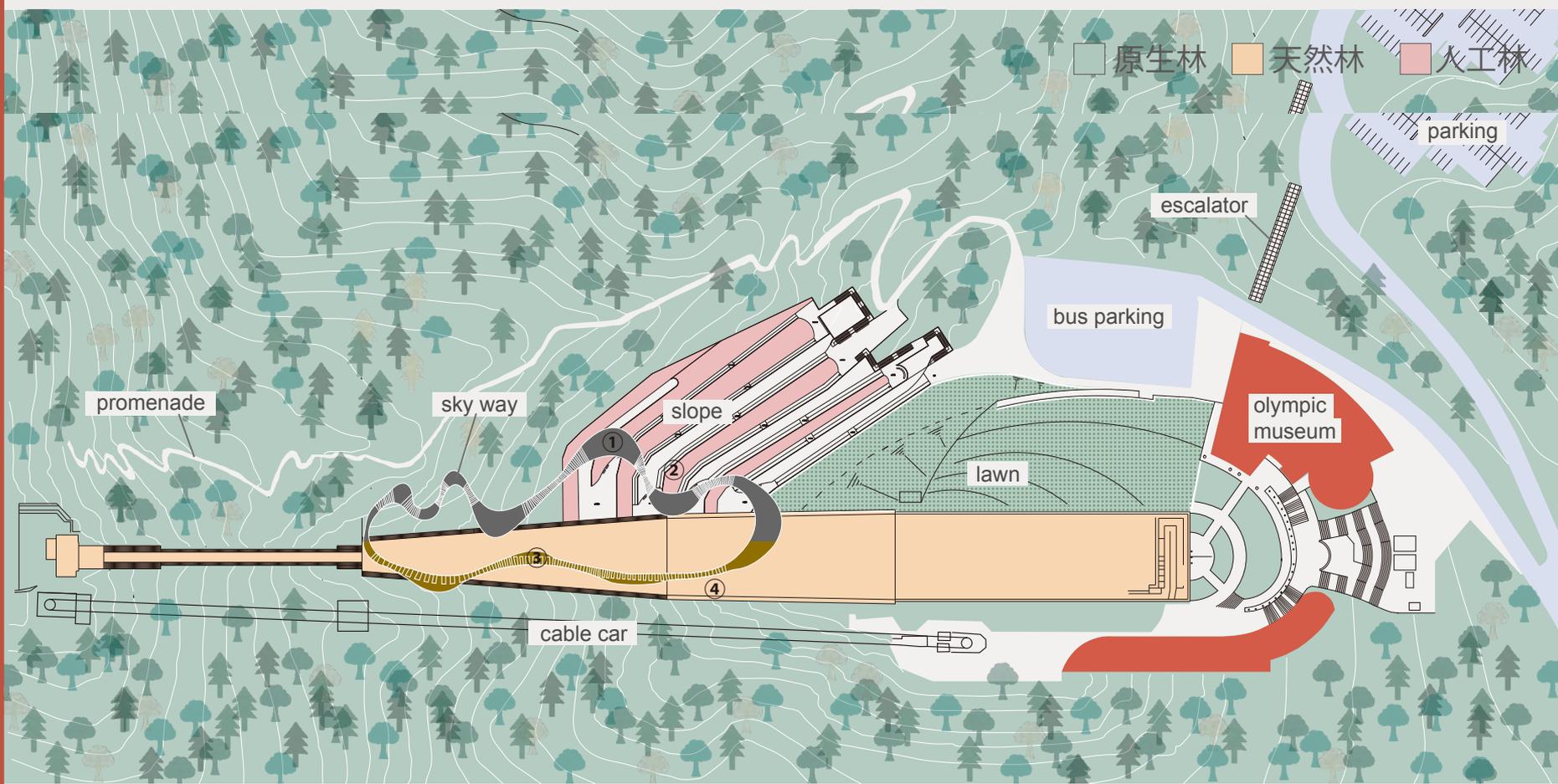
② 選手のジャンプの軌跡

天然林上を通る

→ 自然的なテクスチャ (木材)
直線的・傾斜が大きい



平面図



① ~ ④ イメージパース視点

0 5 10 25 50 100 (m)



散策路 現況地図



出典：さっぽろ自然調査館 (2013) 『自然ガイド 藻岩山・円山』 北海道新聞社

年表

1931 大倉山シャンツェオープン

1952 80m級に改修

1972 札幌冬季オリンピック開催

1982 リフト建設

国から札幌市に競技場移管

1997 サマーヒル化、ナイター完備

2017 オリンピックミュージアムオープン

2031 ジャンプ競技場一部廃止

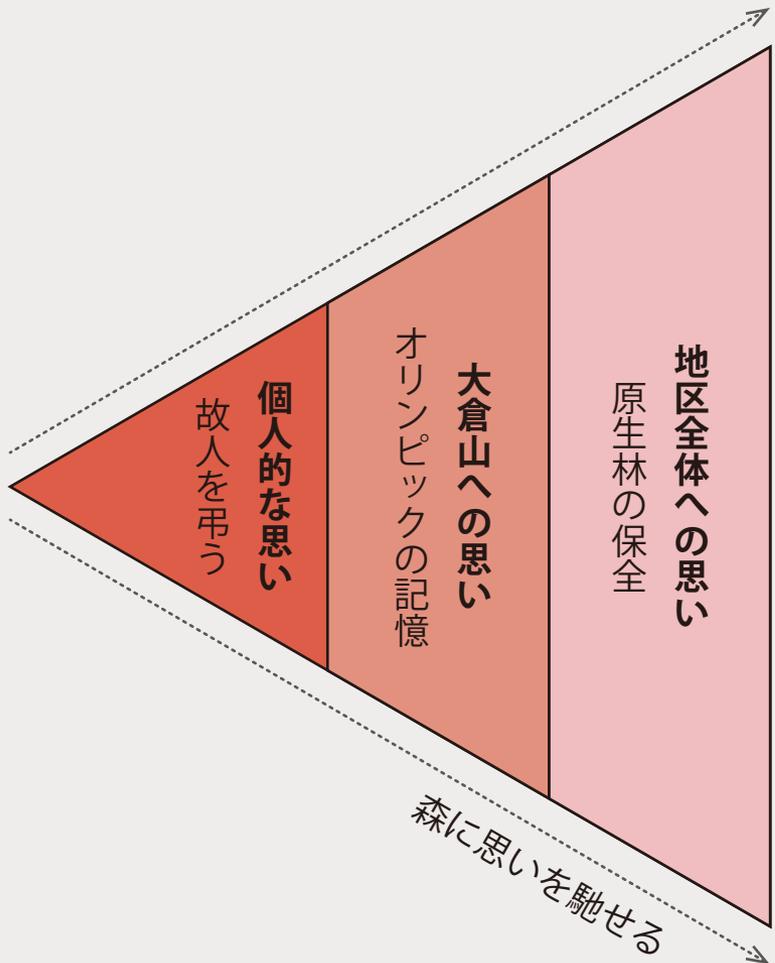
スロープ設置

2036 樹木葬・植樹

2041 空中回廊設置

2060 札幌市人口 140万人

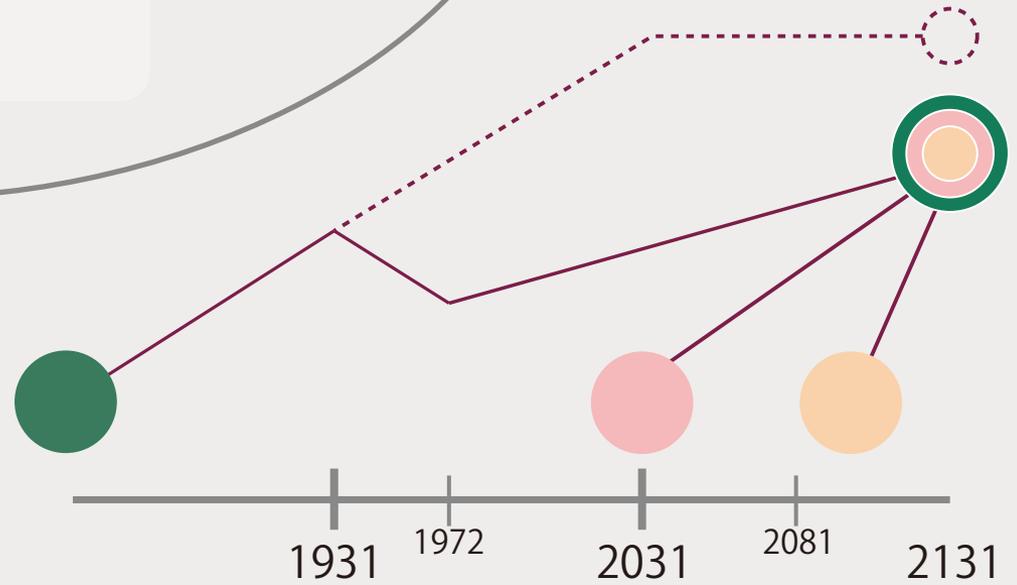
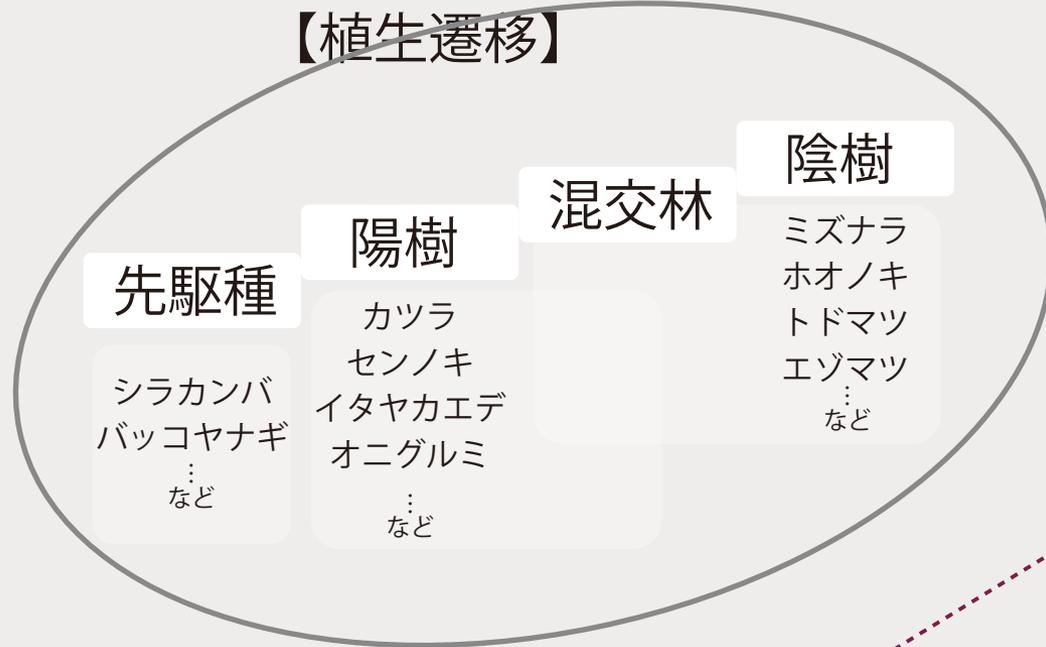
樹木葬ダイアグラム



市民の大倉山に対する思いの段階的变化

植栽遷移

【植生遷移】



【原生林 / 天然林 / 人工林の植生の成長過程】